

CME連絡先リストの設定

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[ローカルディレクトリ](#)

[機能](#)

[設定例](#)

[ラボテストの結果](#)

[ローカルスピードダイヤル](#)

[機能](#)

[設定例](#)

[ラボテストの結果](#)

[パーソナルスピードダイヤル](#)

[機能](#)

[設定例](#)

[ラボテストの結果](#)

[関連情報](#)

はじめに

このドキュメントでは、CME連絡先リストの設定例について説明します。

著者：Cisco TACエンジニア、Yiyue Ma

前提条件

要件

以下に関する知識があることが推奨されます。Cisco Unified Communications Manager Express (CME)を使用します。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次に基づくものです。Cisco Unified Communications Manager Express (CME)14.

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認して

ください。

ローカルディレクトリ

機能

その機能は、名と姓を入力し、CMEのローカル連絡先のDNを照会することです。

設定例

名前の表示方法を設定します。名前の前に名、後ろに姓を付けます。これは、voice register dnの下
の設定と同じである必要があります。

```
telephony-service  
directory last-name-first
```

ディレクトリエントリを作成します。たとえば、2つの連絡先がある場合は、2つのエントリを作成
できます。電話番号10001を設定します。

```
directory entry 1 10001 name san zhang  
directory entry 2 10002 name yiyue ma
```

電話番号を設定し、IDを4として定義します。このIDは、音声レジスタプールで引用符で囲むこと
ができます。

電話番号10001を設定します。

表示名はyiyue maです。

```
voice register dn 4  
number 10002  
name yiyue ma
```

電話機のMACアドレスを設定します。

電話機タイプ8851を設定します。

ID 4の電話番号をこの電話機に割り当てます。

```
voice register pool 154  
id mac xxxxxxxx  
type 8851  
number 1 dn 4
```

ラボテストの結果

設定が正常に完了したら、ローカルディレクトリをクリックし、名前を入力して、この番号を照
会できます。

联系人

1 Local Directory

2 Local Speed Dial

3 Personal Speed Dial

退出

Local Directory Search

Enter search criteria

Last Name

yiyue

First Name

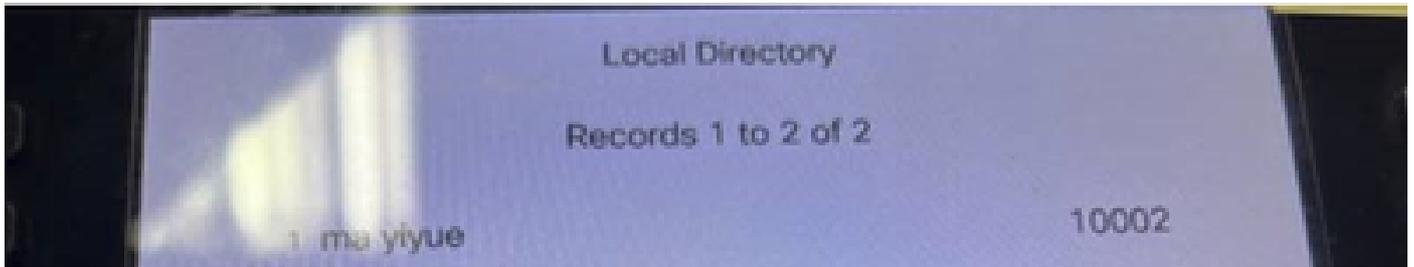
ma

退出

提交



拼音



ローカルスピードダイヤル

機能

すべての電話にプログラム可能な、頻繁に発信される番号のシステムレベルリスト。speeddial.xmlというXMLファイルを作成し、CMEルータのTFTPサーバアプリケーションにコピーする必要があります。

最大32個の数字を定義できます。

設定例

speeddial.xmlファイルを作成し、連絡先と番号を入力します。

```
<CiscoIPPhoneDirectory>
  <Title>Local Speed Dial</Title>
  <Prompt>Record 1 to 1 of 1</Prompt>
<DirectoryEntry>
  <Name>san zhang</Name>
  <Telephone>10001</Telephone>
</DirectoryEntry>
  <Name>si li</Name>
  <Telephone>10002</Telephone>
</DirectoryEntry>
</CiscoIPPhoneDirectory>
```

TFTPサーバからルータのフラッシュメモリにファイルをコピーします。

1. 最初のプロンプトで、リモートホストのIPアドレスまたはDNS名を入力します。
2. 両方のファイル名プロンプトで、speeddial.xmlと入力します。
3. フラッシュを消去するプロンプトで、noと入力します。

```
copy tftp flash
Address or name of remote host []? 1.1.1.1
Source filename []? speeddial.xml
Destination filename [speeddial.xml]?
Accessing tftp://1.1.1.1/speeddial.xml...
Erase flash: before copying? [confirm]n
Loading speeddial.xml from 1.1.1.1 (via
FastEthernet0/0):!
[OK - 329 bytes]
Verifying checksum... OK (0xF5DB)
329 bytes copied in 0.044 secs (7477 bytes/sec)
```

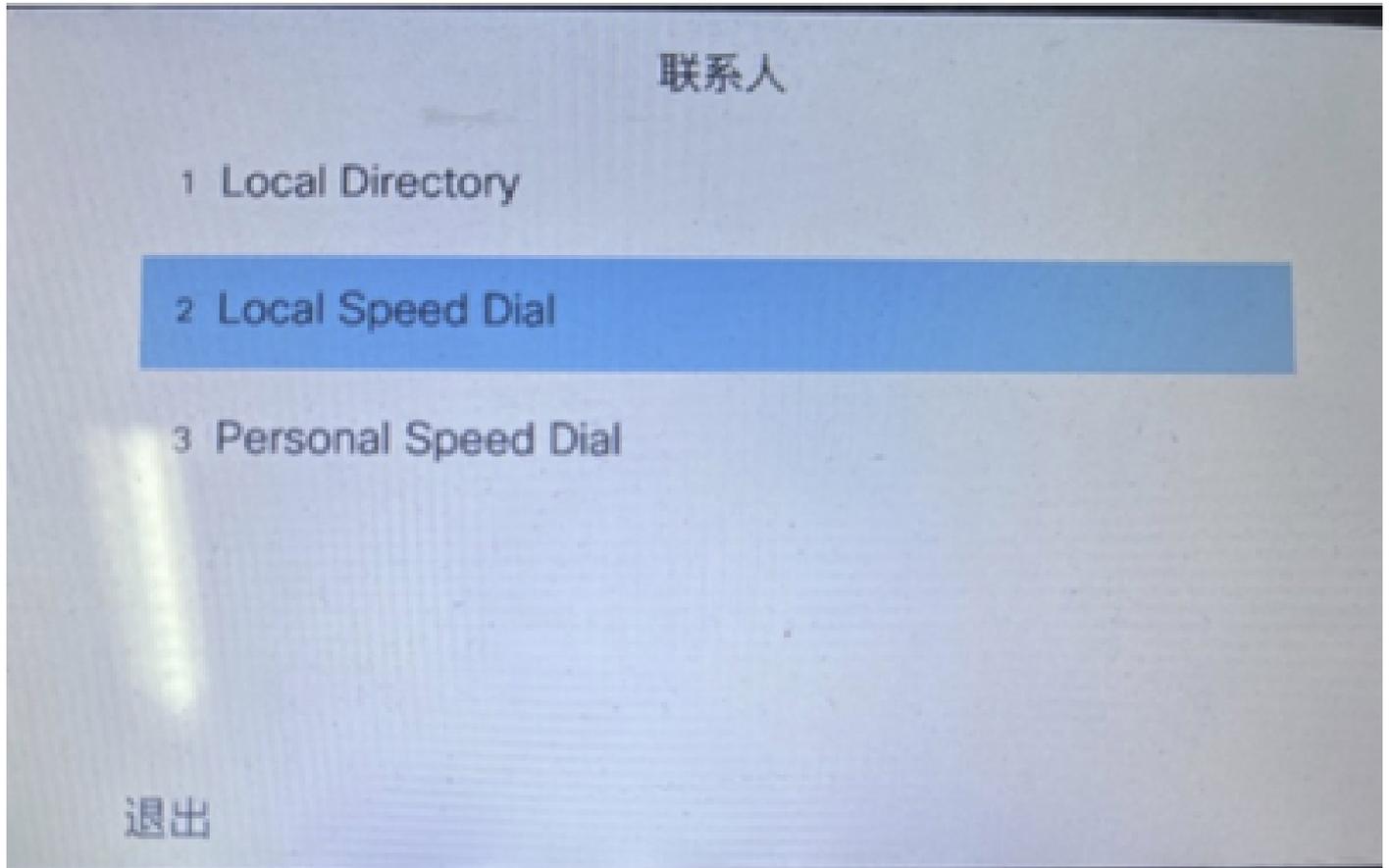
ルータでCisco Webブラウザユーザインターフェイスを有効にします。

フラッシュメモリへのベースHTTPパスを設定します。

```
ip http server  
ip http path flash:
```

ラボテストの結果

設定が成功したら、localをクリックします 短縮ダイヤル、CMEが表示されます 連絡先リスト。



Local Speed Dial	
Record 1 to 1 of 1	
1 san zhang	10001
2 si li	10002

パーソナルスピードダイヤル

機能

スピードダイヤルエントリは、特定のIP Phoneに対してローカルです。
1台の電話機につき最大24の番号を定義できます。

設定例

電話番号と関連付けられた名前を設定します。

```
voice register pool 1
fastdial 1 10001 name yiyue ma
fastdial 2 10002 name si li
```

ラボテストの結果

- 1 Local Directory
- 2 Local Speed Dial
- 3 Personal Speed Dial

Personal Speed Dial

Records 1 to 2 of 2

- | | |
|------------|-------|
| 1 li si | 10002 |
| 2 ma yiyue | 10001 |

Dial

EditDial

Exit

関連情報

- [Cisco Unified Communications Manager Express システム アドミニストレータ ガイド](#)
- [シスコのテクニカルサポートとダウンロード](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。